

# イチゴ新品種「べにたま」の育成

イチゴは鮮度が重視されるため、県内量販店や市場からは、県内産イチゴの供給を望む声が多く聞かれていました。また、市場出荷を行っている生産者からは、食味の良いものや、収量性が高いなどの特徴を持った埼玉県オリジナル品種の育成が求められていました。

そこで、市場出荷に対応可能な品種の開発に取り組み、食味が良く多収で、輸送に伴う荷痛みが少ない新品種「べにたま※」を育成しました。



**「べにたま」の特徴：**草勢は強く、低温伸張性が高いです。果実の形は円錐形、果皮の色はオレンジがかった赤色、果肉の色は白色です。果肉は軟らかいですが、果皮は丈夫であるため収穫・調整時の傷みは少ないです。

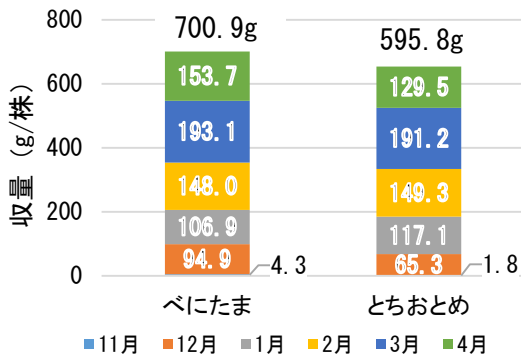


図1 収量の比較

「べにたま」の総収量・早期収量(年内収量)は「とちおとめ」に比べ多くなりました。

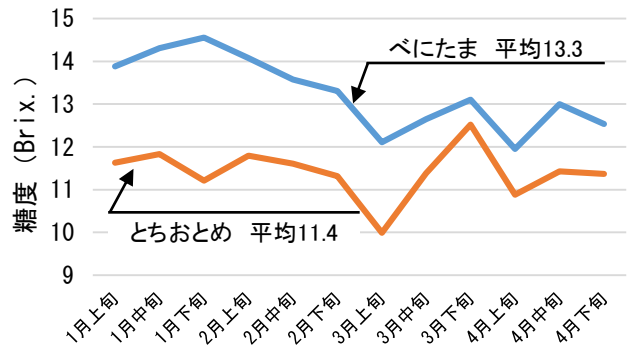


図2 糖度の推移

「べにたま」の糖度は、「とちおとめ」に比べ高く推移しました。

収量性に優れる「べにたま」を活用することで、生産者の収益性向上、産地の活性化など、本県イチゴ産地の発展にも貢献できると考えています。葉柄、果柄が長いため、ハウス温度を下げるなど栽培方法に注意が必要です。

※「べにたま」：品種登録出願公表中（2021年9月16日公表 出願番号 35413）